

株式会社ファミリーマート御中

夢の掛け橋募金 2022年度第1四半期報告書

国連WFP ミャンマー連邦共和国・ウクライナ・2022年パキスタン洪水における緊急支援



特定非営利活動法人

国際連合世界食糧計画WFP協会

はじめに：ご支援の御礼

国連WFPは、飢餓をゼロにすることを使命に活動しています。

平素より国連WFPの活動に温かいご協力を賜り、
誠にありがとうございます。

ファミリーマートのお客さまや、各店舗の皆さまのご理解と
ご協力により、ミャンマー、ウクライナ、パキスタンの3国への緊急
支援として「ファミリーマート夢の掛け橋募金」2022年度第1
四半期より、26,659,065円のご寄付をいただきました。
心より御礼申し上げます。



はじめに：ご支援の御礼

国連WFPは「ファミリーマート夢の掛け橋募金」を通じて頂戴したご寄付をミャンマー、ウクライナおよびパキスタン(2022年洪水支援)の緊急支援として現地に届けております。

ミャンマーでは既存の貧困、新型コロナウイルス感染症、現在の政治危機の三重苦の影響により、ミャンマー全土で飢餓と人道支援の必要性が増え、さらに複雑化・深刻化しています。

ウクライナにおいてはロシア軍侵攻より9カ月経ち、2022年12月現在では戦争はなお続いております。国連WFPは、現金支給と食料支援を通じて、470万人に支援が届くよう活動を拡大しています。

パキスタンでは、2022年6月より続く洪水の被害が大きく、人々の栄養状態・健康状態が懸念されています。

皆様からのご寄付は国連WFPを通じて人々の命へとつながっています。これからも温かいご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。



事業概要：緊急支援

ご寄付額	<p>2022年度第1四半期（2022年3月～2022年5月）26,659,065円 内訳</p> <p>ミャンマー緊急支援 10,000,000円 ウクライナ緊急支 10,000,000円 パキスタン洪水緊急支援 6,659,065円</p> <p>プログラムスタート時からのご寄付総額：530,143,374円 寄付使途内訳：</p> <ul style="list-style-type: none">・学校給食支援 404,293,864円 ※約13,476,462人分の学校給食に相当・ミャンマー緊急支援 106,190,445円・ウクライナ緊急支援 33,634,349円・パキスタン洪水緊急支援 6,659,065円
------	--

ミャンマー連邦共和国：支援地の状況

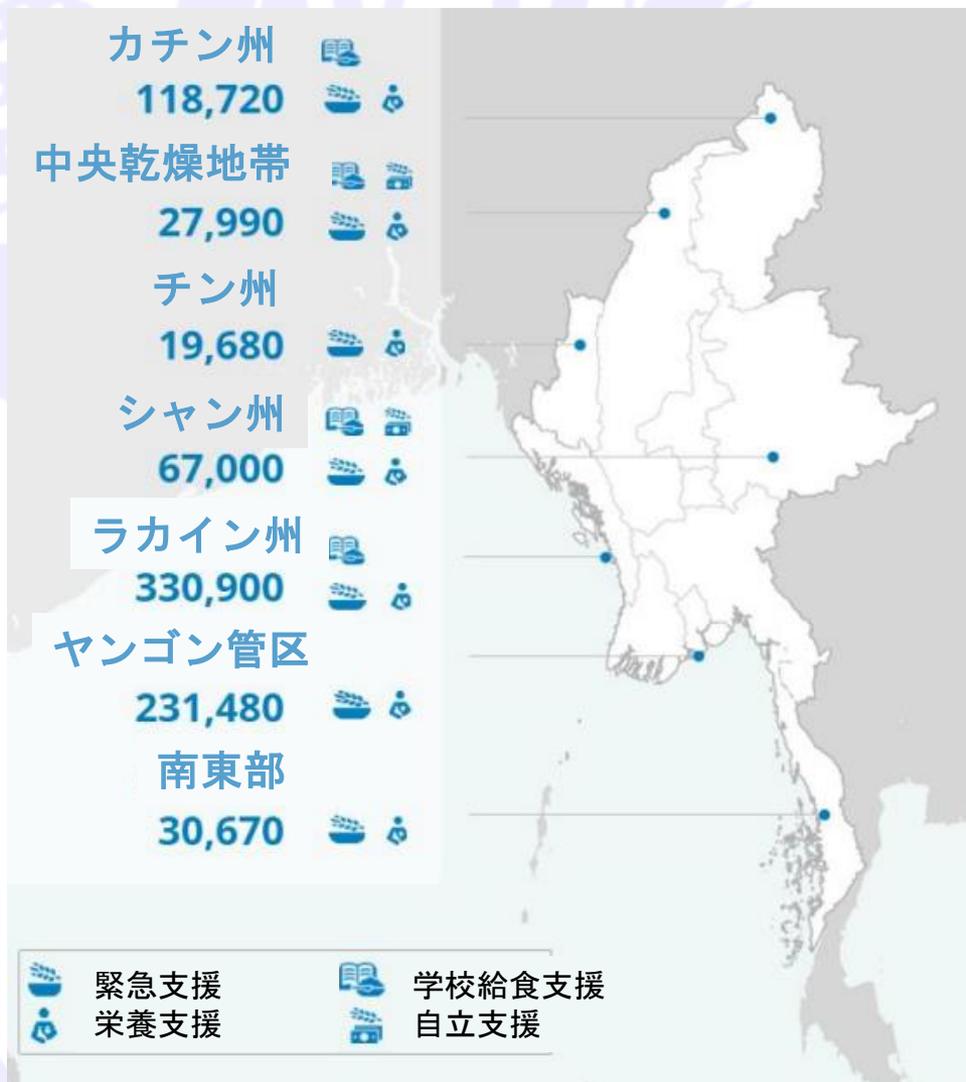


人口	約5,481万人（2021年、世銀）
面積	約68平方キロメートル（日本の約1.8倍）
民族	ビルマ族（約70%）、その他130を超える少数民族
主要産業	農業
GDP1人当たり	1,187ドル（2021年、世銀）
人間開発指数	191国中149位（2020年、UNDP）

- 全国で**1,520万人以上**（4人に1人）が中程度または重度の食料不安に陥っており、2022年の栄養不良が懸念されています。
- 2022年9月現在、国連WFPは**270万人**に食料と栄養支援を届けており、年内には400万人の人々を支援する予定です。
- 燃料価格や食料価格は大きく高騰しており、2022年9月の基本的な食料配給の平均小売価格は1年前と比較して**62%上昇**しました。



ミャンマー連邦共和国：支援地の状況



2022年9月の支援状況

緊急支援	269,800人
学校給食支援	245,100人
栄養支援	159,200人
自立支援	72,300人 (2022年9月現在)



国連WFPの支援（ミャンマー）



緊急支援

国連WFPは、支援に頼りきりになっている国内避難民やその他の脆弱な人びとへの救命支援を優先して行っています。カチン州、シャン州、ラカイン州、チン州を中心に、長引く紛争地域において脆弱な人々に食料と現金による支援を行いました。最も支援規模が大きいラカイン州では、約90%の支援者に食料を届けることができました。



都市部への支援

既存の貧困、新型コロナウイルス感染症、現在の政治危機の三重苦の影響により、都市近郊のでも多くの人々が支援を必要としています。2022年9月には、ヤンゴン近郊において都市部の受益者に3回目の食料配布を行いました。また、社会的保護基準にある人々への現金ベースの支援に完全に移行する計画が進行中です。



国連WFPの支援（ミャンマー）



学校給食支援

2022年9月、国連WFPは全国の2,400校の子どもたち245,100人に現場での給食支援や、高エネルギービスケットの持ち帰り給食支援、学校給食のための現金による支援などを行いました。その内、73校へは初めて国連WFPの給食支援を届けることができました。安全に関する不安より、モン州、カレン州、およびタニタリー管区では栄養強化ビスケットの配布を再開しました。



栄養支援

生後6ヶ月から5歳の子ども132,600人、妊娠中・授乳中の女性・少女26,600人に対して、栄養支援を継続的に行いました。この支援には、発育障害の予防や消耗症の予防と治療に関する活動も含まれています。

また、UN Nutritionをはじめとする様々なパートナーと協力し、子どもたちのための新しい食事ガイドラインの開発を主導しています。



国連WFPの支援（ミャンマー）



自立支援

国連WFPは2022年、インフラ、灌漑支援、土地開発、家庭菜園などのコミュニティ開発と連動した条件付き現金支援を実施しました。

9月はシャン州北部やザガイン管区において1,230人を支援しました。

10月から12月にかけて、国連WFPは道路の改修、家庭菜園のサポート、農地の開発や燃料効率の良いストーブの製造など、約40の新しいプロジェクトの始動を予定しています。



ウクライナ：支援地の状況



人口	4,381万人（2021年、世銀）
面積	60万3,700平方キロメートル（日本の約1.6倍）
民族	ウクライナ人（77.8%）、ロシア人（17.3%）、ベラルーシ人（0.6%）、モルドバ人、クリミア・タタール人、ユダヤ人等（2001年国勢調査）
主要産業	卸売・小売業、自動車・二輪車修理業（14.0%） 製造業（10.1%） 農業、林業、漁業（9.3%） など
GDP1人当たり	4,836ドル（2021年：世銀）
人間開発指数	191国中77位（2020年, UNDP）

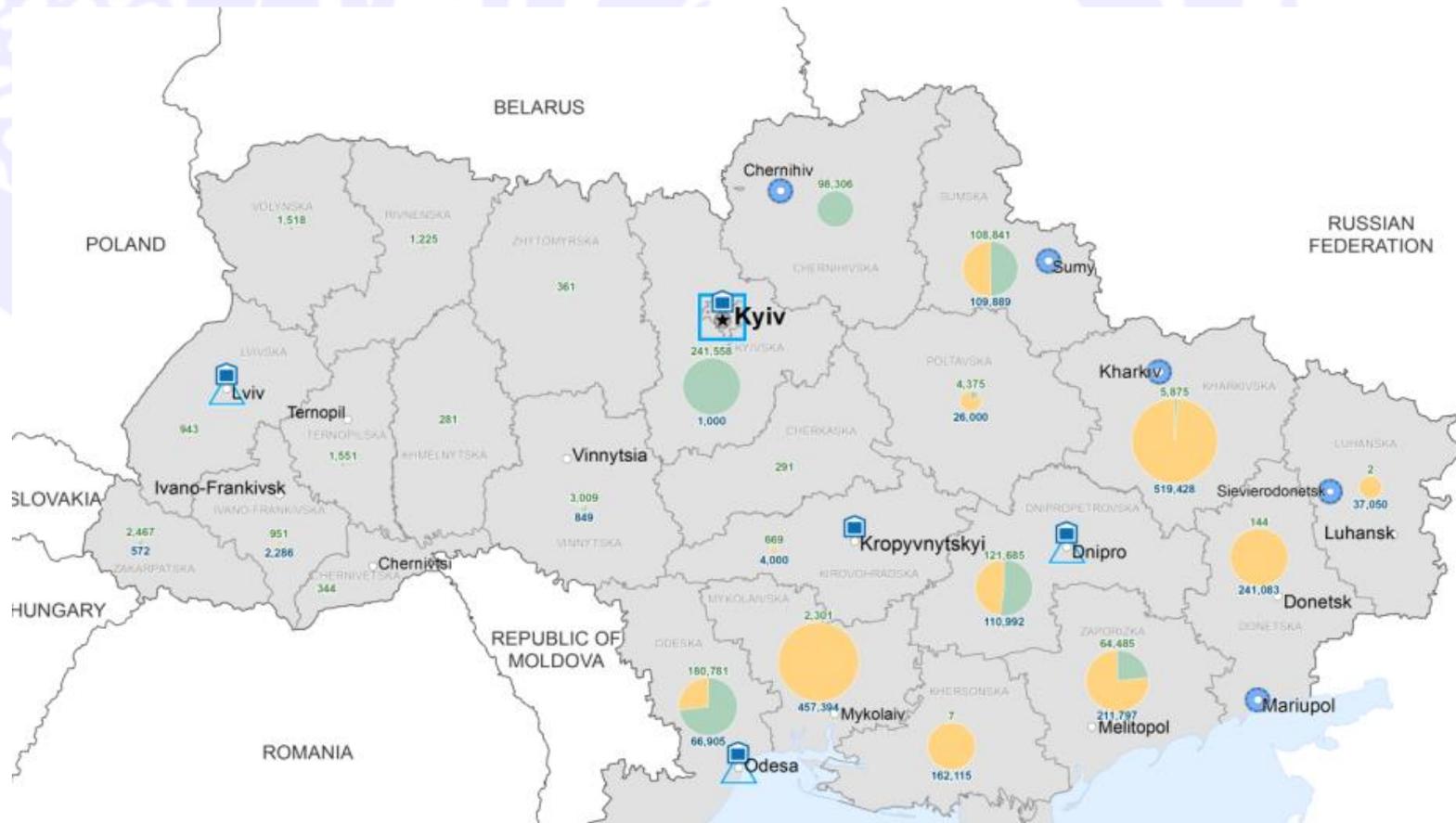
- 2022年2月24日のロシアによる侵攻以来、国境を越えた人は**1,600万人**を突破しており（2022年12月現在）、推定**654万人**以上が国内避難民となっています（2022年10月現在）。
- ウクライナ国内におけるニーズは増えており、**1,800万人**が食料および生活の支援を必要としています。



ウクライナ：支援地の状況



2022年11月の支援状況



現金支援



現物支援



国連WFPの支援（ウクライナ）



食料支援

国連WFPは、紛争が激しく食料の入手が不可能になった人々が残る主に東部や南部で食料支援を行っています。2022年11月、約200万人にパンや緊急配布食料、30日分の一般食料配給を届けました。生後6～23カ月以下（2歳未満）の乳児への栄養支援として、粉状の穀物（おかゆ用）を提供しています。2022年12月現在、累計13万7千トンの食料支援を実施しました。



現金による支援

市場が機能しているウクライナ西部では被災者を対象に現金供給や食料引換券を通して支援を続けています。食料費以外の必要なニーズに対応できるように選択肢を増やすとともに、地元の市場を活性化に繋がります。国連WFPは2022年12月現在、3億7,097万米ドルの現金・食料引換券での支援を実施しました。



国連WFPの緊急支援（ウクライナ）



黒海穀物イニシアティブ

7月27日に合意文書を締結後、8月よりオデーサ港より穀物の輸出が再開しました。

8月14日の第1回目より、WFPは紛争開始以来、6隻のチャーター船を運航しており、エチオピア、イエメン、アフガニスタン等へ19万トン以上の穀物を届けました。

人道支援団体によるウクライナ国内および国外での迅速な支援を継続できるように、物流および通信網の提供も継続しています。



©WFP/Anastasiia Honcharuk

パキスタン・イスラム共和国：支援地の状況



人口	約2億2520万人（2021年、世銀）
面積	79.6万平方キロメートル（日本の約2倍）
民族	パンジャーブ人、パシュトゥーン人、シンド人、バローチ人等
主要産業	農業、繊維業
GDP1人当たり	1,538ドル（2021年度、世銀）
人間開発指数	191国中161位（2020年、UNDP）

- 2022年8月27日の大規模な洪水により、1000人近くが死亡し、**3,300万人**が家を追われました。政府によると、国土の3分の1が水没しています。
- 2022年11月現在、**2,060万人**が人道支援を必要としてる中、資金不足により食料支援・栄養支援の継続が懸念されています。



国連WFPの支援（パキスタン洪水支援）



食料支援・栄養支援

2022年8月より、国連WFPはバローチスターン州、カイバル・パクトゥンクワ州、パンジャーブ州およびシンド州において、洪水の影響を受けた260万人の人々に支援を届けました。被災者への食料支援に加え、生後6ヶ月から2歳の子ども145,724人、妊娠中・授乳中の女性・少女146,585人に栄養価の高い食料を提供しました。

自立支援

国連WFPは、地域の防災・減災に関わる公共事業に参加する人々への現金支援を通し、災害に強い地域社会の構築に取り組んでいます。2022年11月現在、バローチスターン州およびカイバル・パクトゥンクワ州において約360万米ドルの現金支給を行いました。

